

「環境情報と企業価値に関する検討会」

The Asahi logo is displayed in a stylized blue font. The background of the slide features a blue gradient with white wavy lines at the bottom.

アサヒグループホールディングス株式会社
CSR部門 ゼネラルマネジャー
鈴木 敦子

◆ 「中期経営方針」の3つの重点課題の1つに「ESGへの取り組み強化」を設定

■ 持続的成長を目指した“企業価値向上経営”の深化

＜重点課題＞

① 国内収益基盤の盤石化と国際事業の成長エンジン化による「稼ぐ力」の強化

- ・高付加価値化、差別化を基軸としたイノベーションの促進とリーダーシップの発揮
- ・事業統合やバリューチェーンの高度化による収益構造改革、ビジネスモデルの進化
- ・日本発の「強み」を活かす海外を中心とした成長基盤の獲得

② 資本コストを踏まえた資産・資本効率の向上

- ・エクイティスプレッド（ROE－株主資本コスト）を重視した資本効率の向上
- ・ROIC（投下資本利益率）を活用した事業管理、事業ポートフォリオの再構築

③ サステナビリティの向上を目指したESGへの取り組み強化

- ・自然、社会関係資本や人材など「見えない資本」の高度化、CSV戦略への発展
- ・企業価値向上経営の実行に資する「攻めのコーポレートガバナンス」の推進

◆ 中計でESGに取り組むにあたり、経営によるCSRマテリアリティの刷新を実施

活動領域	重点テーマ	KPI
食と健康	責任ある飲酒	小学生向け啓発ツールを2017年年間で35,000部以上配布し、未成年者の飲酒防止に貢献する。
	食の安全・安心	2017年のお客様アンケート評価で、平均点90点以上(100点満点中)を達成する(本アンケートはアサヒビール(株)の商品へのご指摘をくださったお客様の一部に対して実施しています)。
	栄養・健康	「和光堂栄養相談活動」を通じて、2017年年間で10万人以上の参加者と対話する。
環境	気候変動	2017年中に、科学的知見と整合した環境中長期目標を設定する。
	循環型社会	
	生物多様性	
人と社会	人材育成・ダイバーシティ	グループ内の主要会社にお
	安全で豊かな地域社会	日本経済団体連合会が設立
	持続可能な水資源	2017年中に、科学的知見と
	持続可能なサプライチェーン	2015年に実施した「サプ



「自然の恵み」を活用している事業体としてのリスク・機会認識

分類	アサヒグループのマテリアリティ	リスク・機会
気候変動	気候変動	- リスク：主力製品の<u>原材料（麦芽、ホップ、とうもろこしなど）の品質や収穫量の低下</u> - 機会：平均気温の上昇に伴う、<u>ソフトドリンクや熱中症対策飲料の需要の増加</u> - 機会：気候変動による農業への悪影響を緩和することを目的とした<u>新事業の立ち上げ（ビール酵母細胞壁を活用した農業資材を開発）</u>
水資源	持続可能な水資源	- リスク：気候変動に伴う極端な気象現象の影響による、<u>原材料となる水の品質・使用可能量の低下</u> - リスク：気候変動に伴う極端な気象現象の影響による、<u>原材料となる農産物の品質・収穫量の低下</u>
生物多様性・生態系サービス	生物多様性	- リスク：生物多様性の減少による、<u>原材料となる農作物への悪影響</u> - リスク：生物多様性の減少による「<u>アサヒの森</u>」における<u>自然資本の低下</u>

◆「アサヒスーパードライ」にグリーン電力証書を活用

- 『アサヒスーパードライ』缶350mlと、ギフトセットのすべてのビール類の製造に、グリーン電力を活用
- グリーン電力の活用量としては、『アサヒスーパードライ』が日本でNo.1



◆ 水リスク調査の実施

- 原材料調達過程における水リスクを分析し、事業への影響を評価
- 世界59地域について調査し、リスク対策を優先的に進めるべき調達先が明確になった



◆ 水源地保全活動

- グループ社員と家族が参加し、製造拠点の水源地となる森林の保全活動を実施
- 日本国内の製造拠点12か所で展開中



◆アサヒの森

- 「アサヒの森」は、広島県内に大小15か所に点在する社有林の総称で、総面積は2,165ヘクタール（東京ドーム約463個分）に及ぶ
- 1941年、ビール瓶の王冠の裏地に使用されていたコルクの代用品としてアベマキの樹皮を確保するために広島県の山林を購入したことが始まり
- F S C 森林認証を取得しているほか環境教育を実施するなど、持続可能な森林経営を実践



◆環境マネジメント体制

